

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成21年12月18日
第752号

〒952-1209 佐渡市千種155
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117
<http://www.kanai-es.ed.jp/> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



今年一年の世相を表す漢字は「新」でした。最近「偽」「変」という、暗いイメージの字が選ばれていましたが、今年の「新」には来年への希望が託されているような気がします。大変だったことも嫌なことも今年で忘れ、来年からは心機一転頑張りましょう！

NPプログラムとは？

佐渡総合病院小児科
岡崎 実

佐渡市の保健婦さんたちによって、年に一度開催されているペアレントトレーニングは、広く知られるようになってきました。その効果を実感できた修了者が増えて、親子が共に楽になる知恵、上手な子どもとのかかわり方が、もっと普及してくれると思います。

さらに、もう少し低年齢の赤ちゃんを育てているお母さんたちに、ぜひお勧めしたいのが、NPプログラムです。NPとは、Nobody is Perfect. (完璧な人など誰もいない) のことで、ファシリテーター(援助者)の指示に従って、お互いのよい所、うまくいっている所を学びあう体験型の研修プログラムです。その一番の特徴とは、どんな恥ずかしがりやさんでも、くつろいで何でも語れる雰囲気作りをめざしていることです。

子育ての正解は一つだけではありません。やってみてうまくいくなればそれでよし。うまくいかないなら、視野を広げてちょっと別のことを試してみましよう。お互いに好意と敬意を持ち、勇気をもって参加すると、いつの間にか力をもたせて楽しく学べます。

「きこえの教室」はないけれど

昭和48年から「佐渡ことば・きこえの教室」の一翼を担ってきた「きこえの教室」が閉級となってまもなく5年になります。対象児童(通常学級在籍の小学生)がいなくなると存続できなくなる通級指導教室の定めのもと、惜しまれながらの閉級でした。以降、片耳が難聴という児童とは関わってきましたが、「きこえの教室」在籍に該当する児童の保護者からの相談はありませんでした。

そんな中、数年ぶりに「きこえの教室」の指導対象に該当する児童の保護者から相談があり、当教室で来年度から指導を行うことになりました。実のところ教室のオージオメーター(聴力測定器)はかなり旧式で、県内の「きこえの教室」で使用している機種に比べ、性能もかなり見劣りするものでした。そこで教育委員会に掛け合ったところ、今年度中に新しいオージオメーターを購入してもらえることになりました。財政難にもかかわらず、佐渡の子どものために高価な機器購入を即決してくださった教育委員会に感謝しています。

教室では現在、新年度からすぐに最新機器を使いこなして指導に活かせるよう、研修の体制を整えているところです。聞こえに関する相談がある方も、遠慮なく当教室に御連絡ください。(中村)

親の会コーナー



会員の声 No.37

切ない思い 堂谷

ある場所でのことでした。20歳位の青年が、隣に居た小さな子と接触をしたかったのでしょうか、手に持っていた折り紙を両手で優しく差し出しました。差し出された子どもはびっくりした様子で、キョトンとし無反応でした。側にいたお祖母さんらしき人が、「気持ち悪い！」と言い、子どもを連れて席を替えてしまいました。その瞬間、青年から笑みが消え、淋しそうな表情になりました。

私の目に映った彼は、とても強い個性の持ち主のように思えました。と、同時に、「我が子もいつか、この青年と同じようにあしらわれる日が来るのだろうか…。」と、胸の痛くなる思いでした。

今の社会において、とても強い個性をもった人が、多くの人にその個性を理解してもらうには、まだまだ沢山の垣根を取り払わなければいけないと感じた一コマでした。

社会生活の中で、様々な個性をもった人が普通に受け入れられる「ノーマライゼーション」が、早く根付いて欲しいと願います。



お知らせ



3学期の行事予定

3学期には、次の行事等を行う予定です。

- 第2回判定委員会（2月1日）
- 学習会（2月7日）
- 修了者懇話会（3月19日）

詳しい内容は、決まり次第お知らせします。



アクロニウムで覚える子育てワンポイントアドバイス

アクロニウム (acronym) というのは、複数の単語や短い文などの頭文字をつないで作ったことばのことです。日本語では、「頭字語」と約されています。自閉症やアスペルガー障害の子どもに共通する対応のしかたのアクロニウムに、〈あゆみより〉があります。

- 〈あ〉…焦らずに 子どものペース
- 〈ゆ〉…ゆっくり のんびり 見守って
- 〈み〉…見つけよう 子どもの生きがい
- 〈よ〉…読み取ろう 子どもの心
- 〈り〉…理解することは愛すること



障害のある・なしに拘らず、子育てをしていく上で大切なことばかりですので紹介します。

(プルーン出版「アクロニウムで覚える」 仁平説子・仁平義明 著)

